

令和7年度 第7回教育委員会会議 会議録

日 時：令和7年9月24日(水) 午前9時00分

場 所：ながす未来館2階 会議室

教育委員：出席者4人：坂本教育長職務代理者、塚本委員、岩切委員、福島委員
：欠席者なし

教 育 長：松永教育長

事 務 局：学校教育課 稲田教育審議員、田上指導主事、笠課長補佐

案 件：

- (1) 報告第10号 「令和7年第3回(令和7年度9月)町議会定例会 一般会計(教育関係)補正予算及び一般質問」の答弁内容について
- (2) 報告第11号 9月町内校長会について
- (3) 報告第12号 生徒指導について(非公開)

開会(午後3時30分)

○学校教育課 課長補佐より

- ・教育委員会議開会の宣言
- ・松永教育長挨拶

○教育長より

- ・出席委員定数の報告並びに会議成立の報告
- ・議事日程の確認
- ・会議録署名委員の指名(塚本教育委員)

- (1) 報告第10号「令和7年第3回(令和7年度9月)町議会定例会 一般会計(教育関係)補正予算及び一般質問」の答弁内容について

【学校教育課長補佐】

- ・議員2名から一般質問について、質問内容及び町長、教育長及び学校教育課長の答弁内容を説明
- ・教育委員会における9月補正予算の事業内容等について説明

【教育委員】

学校給食の無償化が全国的に進む状況において、近年の物価高騰により無償化した自治体の給食の量が少ないといった内容が報道されていた。

給食費の助成や無償化は保護者にとってありがたいことだが、その結果、給食の量が少なくなったり、質が低下したりといったことに繋がれば、育ち盛りの子どもたちの成長に影響しないかと心配する。

【学校教育課長補佐】

学校給食における質と量の話につきましては、町議員からもあっておりますが、量と質は落とさないということで、共同で給食センターを運営してる荒尾市とも合意ができております。

例えば、最近、白米の価格が上昇しておりますので、白米に麦を少し混ぜるなど栄養バランスを考えながら工夫して調理をされております。

また、学校の方にもお話を伺いながら、ボリュームの面でも子ども達が満足するように運営していければなと思っております。

【教育委員】

アレルギー対応について、特に課題になる部分がないのか。
また、栄養教諭の町内での活用状況の現状はどうなっているか。

【学校教育課長補佐】

アレルギーにつきましては、例年何件かのご相談は受けております。

相談の流れとしましては、まず、病院を受診していただきまして、こういったアレルギーをお持ちなのかを提出していただき、保護者の方、栄養士の先生、給食センター職員、教職員と教育委員会職員がヒアリングに同席いたしまして方針等を決めております。

様々なアレルギーがありますので、全てに対応できるかと言われると難しい部分もございます。そのようなケースにつきましては、お弁当を持参していただくことになってしまいますので、そういった点が課題かと思われます。

また、栄養士の先生につきましては、基本的には給食センターで勤務されていますが、年間数回、給食の時間に各学校に巡回していただいて、食育関係の指導を行っていただいております。

(2) 報告第11号 9月町内校長会について

【教育審議員説明】

【教育委員】

ちょっとわからない点があるんですけど、ICTの効果的な活用について、小学生もタブレットを使いながら先生との双方向でやられてますよね。

ただ、それが苦手な子もいると思うんですよ。現状でどれくらいが双方向でうまくいっているのだろうかということがよくわからないんです。

【指導主事】

ICT活用につきましては、苦手としてる子がいらっしゃいます。同時に先生の中にも苦手とされている先生もおりまして、授業で使われない先生もいらっしゃいますので、誰が授業するかでICT活用の差があります。

ただ、12月にあります熊本県学力調査では、全てiPadを使つての回答となっております。

ICTは使わないと上達しませんし、使えないことで回答するのに時間がかかり正答率が低いという状況には絶対になってはいけないということから、先生方の都合で使わないことがないように、子ども達が100%できるようにしないといけないと考えております。

【教育委員】

100%になればいいんですけど、頑張っても、おそらく何割かはタブレットが苦手だという子はいると思うんですよ。

そのせいで、教科の中身が分からなくなれば本末転倒ですので、100%の子ができるようになってから移行すべきだと思いますが、100%になることは難しいと思うので、先生と子ども達との直接的なやり取りのルートも残しておかないと、小学生では無理じゃないかなと思うんですよ。

【学校教育課課長補佐】

小学校ですと、1・2年生は、タブレットはありますが入学してすぐということもあり、活用の面ではどうしても3年生からかなという状況はお見受けします。

また、これまでは、学校のネットワーク環境や今のタブレットの使いやすさという面で厳しい部分があり思うように活用が進んでない部分もございます。

ただ、今年度はタブレットを更新することに加え、学校のネットワーク環境の改善も図ります。

委員が心配される子供たちが活用したところでの学力の向上というところにつきまして、手探りな部分もあり、本当に9年度からタブレットだけでテストをできるのだろうかという心配は、我々だけではなく現場の先生もお持ちかと思いますが、国の方針がそういった方向で今後進んでまいりますので、日常的に使えるような状態を見越していかなければいけないということは考えております。

【教育委員】

活用の中で、検定みたいなものはあるんですか。エクセル検定があるとか、共通して取り組める課題があればいいかなと思うんですが。

【学校教育課長補佐】

タブレットが導入された当初は、1分間で何文字ぐらいタイピングできるようにしようというように、県が目標を作っていました。

しかし、今の方向性は、タブレットの中に教科書やドリル・宿題が入り学校に来れないときにはタブレットで先生の授業が受けられるという、そういった活用の方向にシフトしてきているのかなという気がしております。

ですから、子ども達が毎日持ち帰ってタブレット開いて宿題をするとか、そういった活用がなかなかできておりませんので、そういう使い方を自然とできるようになればいいなと考えております。

報告第12号 生徒指導について（非公開）

○教育長

それでは、これをもちまして本日の議案が終了いたしましたので会議を終了いたします。ありがとうございました。

閉会（午前10時30分）

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためにここに署名する。

長洲町教育長

長洲町教育委員